



1

61-87079/1986**Japanese Publication for Utility Model****No. 61-87079/1986 (Jitsukaisho 61-87079)****A. Relevance of the Above-identified Document**

The following is a partial English translation of exemplary portions of non-English language information that may be relevant to the issue of patentability of the claims of the present application.

B. Translation of the Relevant Passages of the Document**Claim**

... a conical metal mold is provided at one end of a rotation axis, while a driver for driving the rotation axis is attached to the other end of the rotation axis, and ... a conical guide for involution, which has a gap into which a material is inserted, is provided at ...

THIS PAGE BLANK (USPTO)

⑩日本国特許庁(JP)

⑪実用新案出願公開

⑫公開実用新案公報(U) 昭61-87079

⑬Int.Cl.1

A 21 C 15/02

識別記号

府内整理番号

7236-4B

⑭公開 昭和61年(1986)6月7日

審査請求 有 (全4頁)

⑮考案の名称 可食コーン状容器の成形装置

⑯実願 昭59-171925

⑰出願 昭59(1984)11月13日

⑱考案者 伊藤 稔美 東京都中野区鷺宮1丁目30番5号

⑲出願人 伊藤 稔美 東京都中野区鷺宮1丁目30番5号

⑳代理人 弁理士 且六郎治 外1名

㉑実用新案登録請求の範囲

基板上に回転自在に横設した回転軸の一端に円錐状の金型を設け、前記回転軸の他端に該回転軸の駆動源を取り付け、前記基板上にガイド部材を横設し、このガイド部材に取付けられた一対のボスに素材差込用のギャップを有する巻込み円錐ガイドを設け、この円錐ガイドの前後にそれぞれ素材載置分と支柱を介して成形後のコーン状容器を前記金型より押し出す押し出し片とをそれぞれ取付け、前記ガイド部材の両ボス間にはスリーブとスプリングとを介在させ前記スリーブに取付けたハンドルにより前記素材載置台、巻込み円錐ガイドおよび押し出し片をガイド部材に添って左右動させ得ると共に、前記ハンドルをガイド部材取付支柱に取付けられているハンドルロック片に保持させ得るようにしたことを特徴とする可食コーン状容器の成形装置。

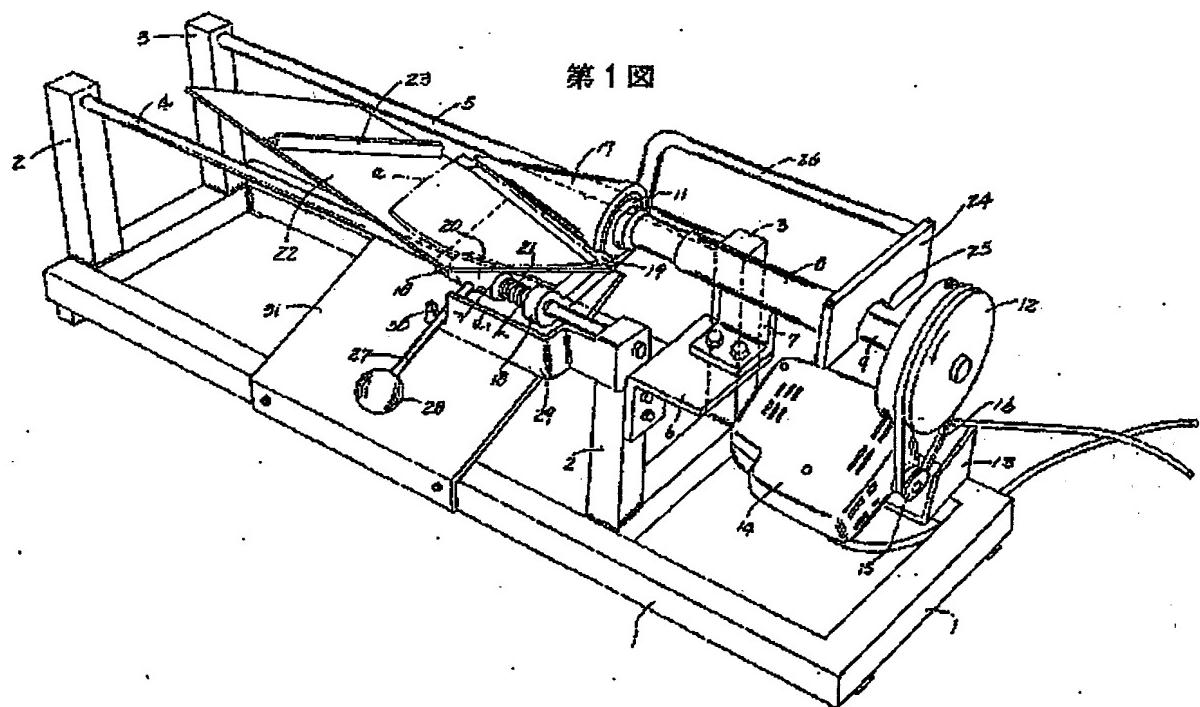
㉒図面の簡単な説明

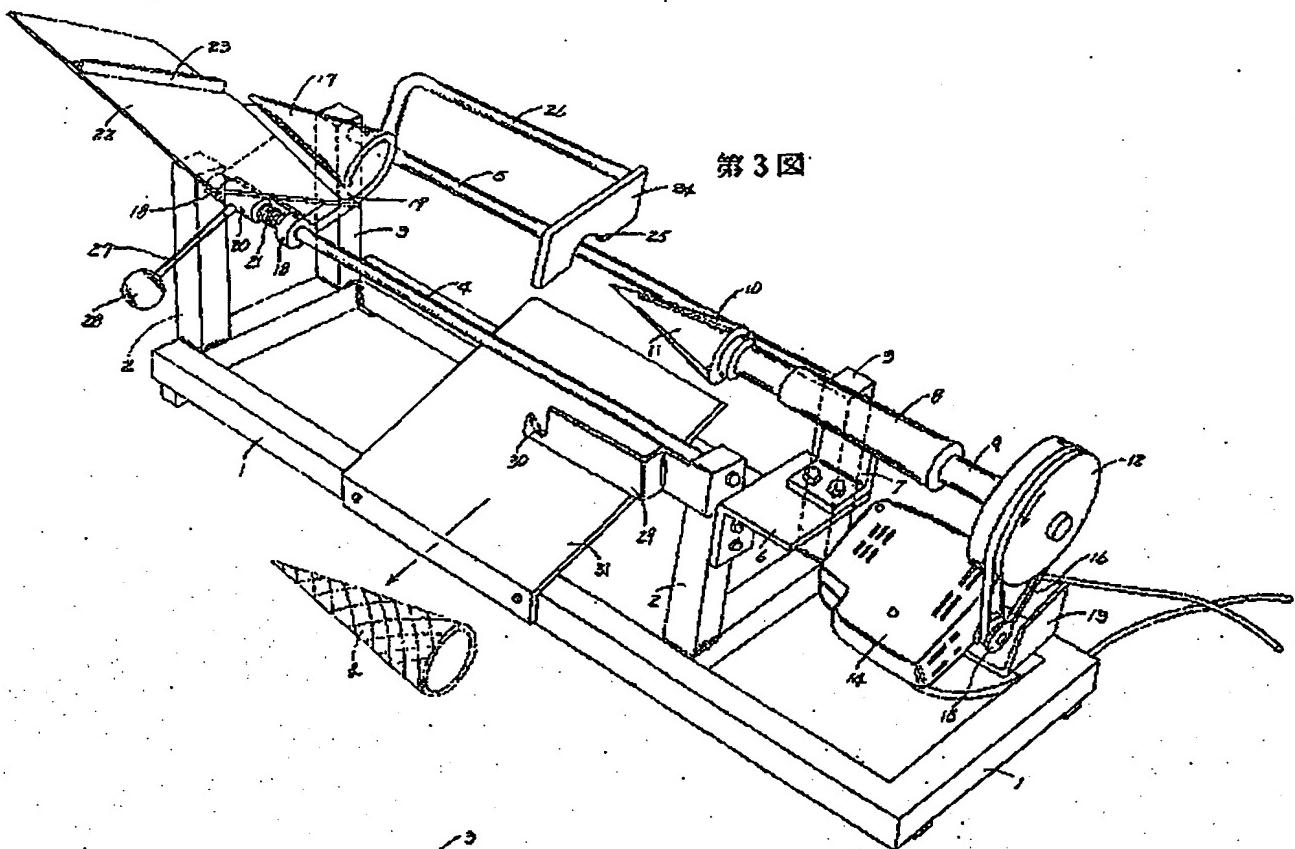
図はいずれもこの考案の一実施例を示すもの

で、第1図は可食コーン状容器の成形装置の斜視図、第2図および第3図はそれぞれ第1図と状態を異にした斜視図、第4図は第1図と状態を異にした要部の斜視図、第5図aから第5図cまではいずれも素材を金型と巻込み円錐ガイドとの間に差し込んで素材を巻込む順序を示す要部の拡大断面図である。

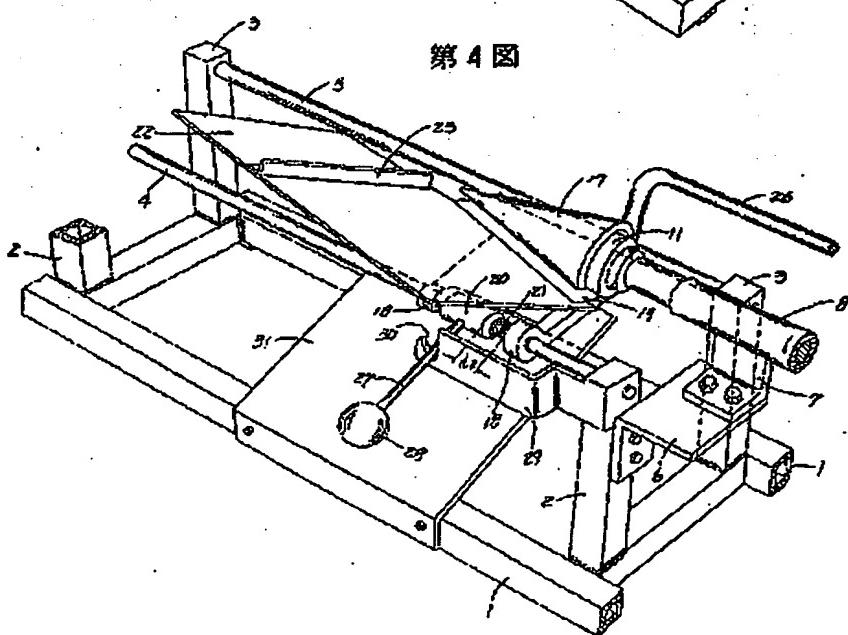
1…基板、2, 3…支柱、4, 5…ガイドバー、6…支持片、7…取付部材、8…軸受スリーブ、9…回転軸、10…ノンチ、11…金型、12, 15…ブーリ、14…モータ、16…ベルト、17…円錐ガイド、19…素材挿入口、20…スリーブ、21…スプリング、22…素材載置板、23…案内片、24…押し出し片、26…支持腕部材、27…ハンドル、28…ハンドルロック片、30…切欠。

第1図





第3図



実開 昭61-87079(4)

第5図

